

家庭学習の手引き 横見小学校

家庭を学びの環境に ～自ら学ぶ子をめざして～

まず、基本的な生活習慣を見直しましょう。



確かな学力を身に付けさせるためには、毎日の生活で、早寝早起き・規則正しい食事（朝食）・朝の排便などの基本的な生活習慣を身に付け、子どもにあった1日の生活リズムをつかませることが重要です。生活リズムを整え、早寝早起きを心がけることにより、余裕を持って、食事・排便・登校の準備ができると思います。

学力を定着させるために、家庭の学習環境を整えましょう。

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。学校で子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせると同時に、家庭では、子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組むことが重要です。学習する時はテレビを消して、学習をする場所の整理整頓をするなど集中できる環境を整えることも必要です。また、読書についても、音読だけでなく、いろいろな本を静かに読む習慣も身に付けさせたいものです。



テレビやゲームの時間より、
勉強や読書、手伝いの時間の方が多いい子どもに

家庭での学習習慣の定着に向けて、家庭で話し合しましょう。

家庭での学習習慣の定着を目指して家庭生活、家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を考える参考資料として、「家庭学習の手引き」を作成・配布させていただきます。「家庭学習の手引き」では、小学校低学年（1・2年生）、中学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）に分けて、家庭での学習のめやす（10～15分×学年）や学習内容の特徴、学習の基本など学年に応じた家庭学習の在り方を具体的に示してあります。各家庭の事情や、子どもの実態に合わせて、家庭で話し合いながら活用していただければと思います。

家での声かけを大切に

- ・子どもがやりとげられるように声をかけ、はげましてあげてください。
- ・子どもがたずねてきたら、できる範囲で答えてあげてください。
- ・子どもが学習したことにできるだけ目を通してあげてください。